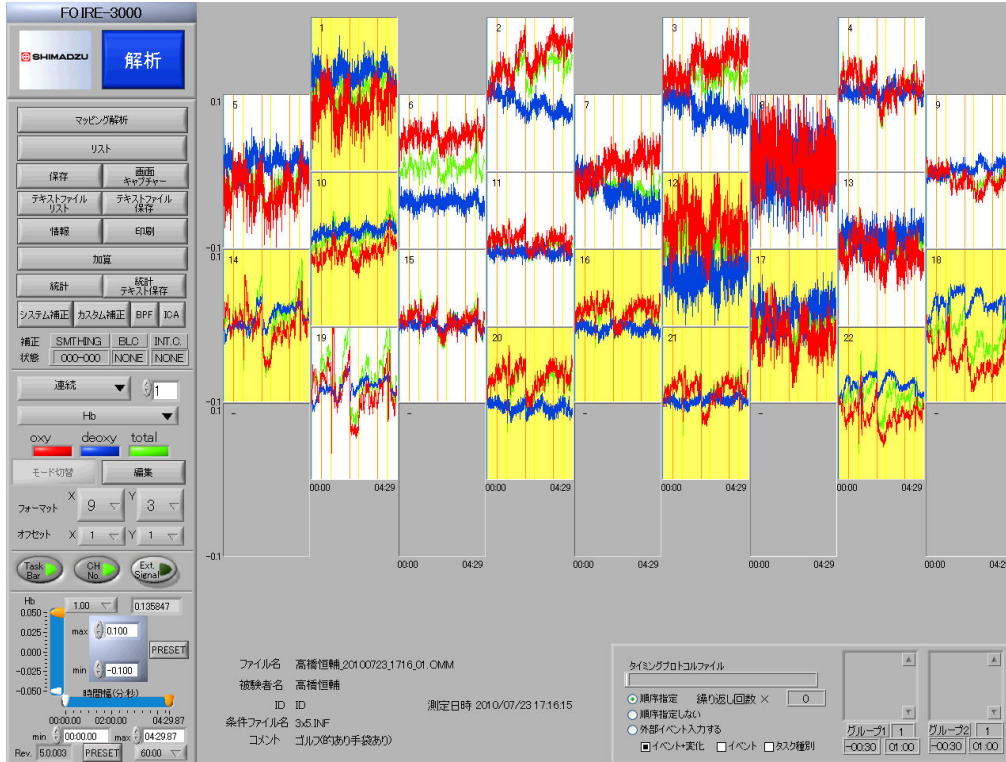


fnIRS(近赤外光脳血流測定装置)による測定データについて

二つの図は、「ボールをスティック(棒)でゴールに向けて打つ」動作を「普通の手袋」をはいた場合と、『医療用手袋』をはいた場合を比較したものです。赤いラインは酸素を含んだ動脈流をあらわしていて、主に、このラインが活発な脳活動の指標となります。図の番号は頭に装着した赤外光の端子の位置を示していて、黄色く色づけた部分は、とくに活発に活動している部位と考えられます。『医療用手袋』をはくと、「普通の手袋」にくらべて、「おでこ」から「頭のとっぺん」にまたがるあたりの血流が活発になることがわかります。これは直感や判断力にかかわる脳が活性化することを示唆しています。

普通の手袋装着



『医療用手袋』装着

